

## 課題

### 【全モード共通】

- 運送業界は男性社会のイメージが強く、女性が職業を選択する場合、運転者という発想がない。若しくは、特別な女性の職業という意識がある。
- 各社、HPに女性運転者の写真を挙げるなどして、女性を採用していることをアピールしているが、女性の目にとまることなく、女性が募集されていることが認知されていない。
- 拘束時間が長いなど、育児等と両立できる勤務体系の不備。

### 【タクシー】

- ・「タクシー業界＝悪いイメージ(給与水準、防犯面の不安、事故リスク)」といったイメージの払拭

### 【バス】

・出産・育児を踏まえたキャリアパスの整備

・休憩室等の女性専用施設の整備

- ・相談体制の構築
- ・二種免許の取得支援制度が必要

### 【トラック】

- ・急遽休みの場合、代替運転手が不在のため、人材確保の検討
- ・荷待ち時間が長いため、必然的に長時間労働とならないための方策。
- ・手積、手降など荷役に係る体力の問題。

## 提言

- 浴室、仮眠室、パウダールーム等、女性だけで使用出来ることを前提とした設備の設置が不可欠である。しかし、施設改修には多額の費用が必要であり、容易ではないため、まずは取り組みやすい課題から着手する。
- 看護師、保育士、鉄道運転者等、近年、男女差が少なくなっている事例を参考に、女性運転者が業界に足を踏み入れやすい環境整備。
- 女性運転者が運転をしている動画を配信するなど、普通の女性でも運転できる情報を積極的に発信。
- 育児に関するイベントや女性や若者の目にとまるフリーペーパーとコラボすることにより、女性ドライバーをアピール。
- 育児世代の女性や将来の出産育児に備え、時間の融通が利く短時間勤務シフトを選択できるなど、多様な働き方の提案。
- 子供の病気など急な看護が必要なときに、交代出勤ができる体制づくり。
- 経営者による女性採用への意識改革。

## 運輸局の取組方針

- ・バスドライバーの就職支援に専門的知見を有する民間企業と連携した取組を実施
  - ・各協会と協働し、運転者確保に向けた就活イベントの開催
  - ・各協会と協働し、業界のイメージ向上に関する取組を促し、その取組を支援
  - ・各協会と協働し、HP等を活用し運転者の魅力について発信
  - ・経営者、女性運転者の意見交換会の継続した開催を支援
- さらに、トラックに関しては、
- ・トラック協会と協働し、出前講座等により物流の現状を知ってもらい、人材確保に努める。
  - ・長時間労働等抑制のため、荷主企業に対して荷待ち時間等の短縮に向け要請活動を積極的に行う。

## 各モード取組の様子

【バス人材確保シンポジウム】



【タクシードライバー懇談会】



【トラガール懇談会】

